

# R4 参加・参画、協働事業（制度）調査票

## 1. 基礎情報

担当課（かい）名	社会福祉課		
事業（制度）名	広陵町民生児童委員協議会補助金		
予算・決算	前年度（R3）予算額	2,950	千円
	前年度（R3）決算額	1,828	千円
	今年度（R4）予算額	2,888	千円
参加・参画、協働事業の種類	1-2 補助金	1-2 補助金	

※別紙「記載要領」を参照の上、選択してください。

## 2. 事業内容

対象者	広陵町民生児童委員協議会
事業開始年度	
事業の対象となる地域や町民の現状・課題	広陵町民生児童委員協議会は他市町村と比較してもかなり活発的に活動している単位民児協である。その反面、民生児童委員にかかる負担も他市町村より大きい。その影響もあり近年広陵町民生児童委員協議会では民生委員の担い手不足に悩まされている。民生委員の担い手不足については全国的な課題として挙げられるが、広陵町においても顕著にその傾向が見られる。
事業の目的および概要	昨今の地域福祉課題は多様化しており地域住民が抱える悩み事は増加している。そんな中、地域福祉の担い手としてご活動いただいている民生児童委員及び協議会に対し補助を行うものである。
取り組みの成果（前年度（R3））	
事業成果実績値 費用対効果	【委員活動（主任児童委員含む）】 総活動日数：8,169日、総訪問活動数8,895件、相談受付件数953件（委員定数55名） 【協議会活動】 定例会12回実施、部会研修8回、広報誌『輪』発行
今後の課題	民生委員の負担の増加と担い手不足
課題に基づく改善等	模索中

今後、当該事業において取り組みたい「参加・参画、協働事業（制度）」があれば、記載してください。

--

# R4 参加・参画、協働事業（制度）調査票

## 1. 基礎情報

担当課（かい）名	けんこう推進課		
事業（制度）名	巡回型健康教室広陵元気塾		
予算・決算	前年度（R3）予算額	933	千円
	前年度（R3）決算額	833	千円
	今年度（R4）予算額	933	千円
参加・参画、協働事業の種類	2-2 共催		(プルダウンを選択)

※別紙「記載要領」を参照の上、選択してください。

## 2. 事業内容

対象者	全町民
事業開始年度	平成26年度
事業の対象となる地域や町民の現状・課題	保険の種別や年齢で区切られる教室が多いなか、健康は広陵町全体で予防しなければならないので、年齢・保険を区切らずに広陵町住民であれば誰でも参加できる形にしました。
事業の目的および概要	健康に関しては広陵町全体で行う必要があるため、年齢・保険を区切らずに広陵町住民であれば誰でも参加できる形とし、町民が歩いて参加できる範囲で実施するため、各小学校区の体育館や公民館などを巡回して実施。毎月の実施は、保健師、健康運動指導士もしくは管理栄養士で行い、テーマ内容によって畿央大学の理学療法士の先生に講師としてきてもらっている。
取り組みの成果（前年度（R3））	
事業成果実績値費用対効果	新型コロナウイルス感染症により、令和2年度は休止、令和3年度は定員を設ける形で実施。令和3年度は合計55回の実施で、のべ1030人の参加があった。
今後の課題	新型コロナウイルス感染症による休止前ほどの参加者には回復していない。コミュニティ形成の一助として活用していただけるような事業展開をしていく。
課題に基づく改善等	参加者の口コミから、参加者数が増えていっていたが、今後は新たな周知ツールを用いた方法でも行っていく。また、新たな参加者のきっかけとなるよう実地とは別のテーマでの動画配信を行う。

今後、当該事業において取り組みたい「参加・参画、協働事業（制度）」があれば、記載してください。

--

# R4 参加・参画、協働事業（制度）調査票

## 1. 基礎情報

担当課（かい）名		環境政策課	
事業（制度）名	違反広告物除却活動		
予算・決算	前年度（R3）予算額	5千円	
	前年度（R3）決算額	5千円	
	今年度（R4）予算額	5千円	
参加・参画、協働事業の種類	2-2 共催		(プルダウンを選択)

※別紙「記載要領」を参照の上、選択してください。

## 2. 事業内容

対象者	違反広告を除去するボランティア
事業開始年度	平成17年頃から活動実績有
事業の対象となる地域や町民の現状・課題	町内全域の電柱や公共施設に無許可で掲示されている違反広告物は、地域景観の悪化や青少年の健全な育成の観点から好ましいものではなく除却の必要があった。
事業の目的および概要	ボランティアが主体となって町内の違反広告物を撤去する。
取り組みの成果（前年度（R3））	
事業成果実績値費用対効果	長年の地道な除却活動の結果、町内の電柱やガードレールなどに掲示されていた違反広告物は、大方が見られなくなった。
今後の課題	
課題に基づく改善等	

今後、当該事業において取り組みたい「参加・参画、協働事業（制度）」があれば、記載してください。

--

# R4 参加・参画、協働事業（制度）調査票

1. 基礎情報	担当課（かい）名	産業総合支援課	
事業（制度）名	中小企業・小規模企業振興事業		
予算・決算	前年度（R3）予算額	6,427	千円
	前年度（R3）決算額	4,348	千円
	今年度（R4）予算額	6,427	千円
参加・参画、協働事業の種類	1-2 補助金	3-1 審議会、策定委員会等	

※別紙「記載要領」を参照の上、選択してください。

## 2. 事業内容

対象者	町内の中小企業及び小規模企業、創業希望者
事業開始年度	平成31年度～
事業の対象となる地域や町民の現状・課題	地場産業である靴下製造業やプラスチック製造業を中心とした「製造業のまち」である本町は、高い技術力を有する中小企業及び小規模企業が多く存在する一方で、これまで大手メーカーからの発注を受けるOEM生産が主流であったことから、SNS等を活用した販路拡大やターゲットとなる消費者に響く自社ブランドの商品・サービス開発、優秀な人材確保に係る自社の情報発信に課題を抱えている。
事業の目的および概要	町内の事業者におけるソフト・ハード両面の課題解決を支援するため、現状の課題把握及び資金面での支援を行う。
取り組みの成果（前年度（R3））	
事業成果実績値費用対効果	町内事業者、商工会、中小企業家同友会、大学教授及び金融機関等の参画と協働のもと開催している、広陵町中小企業・小規模企業振興基本条例に基づくワークショップ等で町の産業振興施策について議論を進めているところ。以下の補助金については参画者により要望があり、その声を反映した形の補助金となっているため、活用率が非常に高く町の産業振興関連予算を町内事業者等に効率的且つ有効に活用していただいている。 【本町の補助金一覧】 中小企業設備投資促進補助金、新商品等開発補助金、創業促進補助金、デジタル化推進補助金、ビジネスモデル構築支援補助金、感染症拡大防止支援補助金
今後の課題	平成30年の条例制定以降、多くの事業者等に参画をいただいていたが、コロナ禍もあり、集まりにくい状況が続き令和3年度においては参画事業者が12数社にまで減少することとなった。本町の産業振興を推進していく上で、数多くの参画者と協働していく必要があることから、参画者数減少が現在の課題である。
課題に基づく改善等	前述した課題を改善するため、これまで参画しておられない町内事業者を含めて再度募集を行い、本町の産業振興施策は町主導ではなく、町内事業者の参画と協働により施策検討を行ってきた経緯（補助金メニューの更新や産業支援組織の立ち上げ等）を説明するとともに、今後も地域密着型プラットフォームの設立等の事業を構築していくに際して、町内事業者の声を反映していきたい旨を訴えることで、新規参画者の増加を図る。

今後、当該事業において取り組みたい「参加・参画、協働事業（制度）」があれば、記載してください。

--

# R4 参加・参画、協働事業（制度）調査票

1. 基礎情報	担当課（かい）名	農業振興課	
事業（制度）名	人・農地プランの実践について		
予算・決算	前年度（R3）予算額		千円
	前年度（R3）決算額		千円
	今年度（R4）予算額		千円
参加・参画、協働事業の種類	4 その他	(プルダウンを選択)	

※別紙「記載要領」を参照の上、選択してください。

## 2. 事業内容

対象者	人・農地プランの中心経営体等
事業開始年度	令和3年度
事業の対象となる地域や町民の現状・課題	馬見地区上郷、馬見地区下郷、古寺地区、南郷地区、百済地区、百済川向地区、広瀬地区、箸尾地区川西、箸尾地区川東、弁財天地区、寺戸地区の11地区（市街化区域内農地を除く）を対象に担い手や後継者不足等の問題解決のために、人・農地プランを策定。
事業の目的および概要	担い手不足、後継者不足等といった課題や今後の担い手となる中心経営体を誰にしていけば良いかを地区毎で議論していただき、人・農地プランを実現するために、農業者の意見交換会や勉強会を開催し、人と農地の問題解決と農業振興に繋げていく。
取り組みの成果（前年度（R3））	
事業成果実績値費用対効果	全11地区において人・農地プランの策定を完了
今後の課題	地区の課題解決について積極的に取り組む地区をモデル地区と位置づけ、支援を行う。
課題に基づく改善等	現行のプランをもう一歩進んだ物にしたい、もう少し深掘りしたい、国の支援措置を使って事業を展開したいと考えている地区に対して地区部会や農業者との意見交換会を行っていく。

今後、当該事業において取り組みたい「参加・参画、協働事業（制度）」があれば、記載してください。

# R 4 参加・参画、協働事業（制度）調査票

1. 基礎情報	担当課（かい）名	広陵北かぐやこども園	
事業（制度）名	こども園生活発表会		
予算・決算	前年度（R3）予算額	0	千円
	前年度（R3）決算額	0	千円
	今年度（R4）予算額	0	千円
参加・参画、協働事業の種類	2-2 共催	(プルダウンを選択)	

※別紙「記載要領」を参照の上、選択してください。

## 2. 事業内容

対象者	北かぐやこども園保護者
事業開始年度	平成30年度
事業の対象となる地域や町民の現状・課題	現在、200名の園児が在籍している。そのうち137名が北小校区で、63名が北小以外の校区である。 2・3号認定は163名で1号認定が37名で、両親とも就労されている家庭が8割を超える。 両親の就労により保育の必要性が生じ、こども園を開設しているため、保護者の園運営への参画や共働は難しい面があると考え。しかしながら、働いている保護者ができるPTA役員や共催園行事等を計画・実施していく必要があると考えている。
事業の目的および概要	・一年間のこども達の成長した姿を、保護者や地域の方々に参観していただく。 ・地域に開かれたこども園を目指して、地域のこどもたちのがんばりを積極的に発信していく。
取り組みの成果（前年度（R3））	
事業成果実績値費用対効果	新型コロナ禍で、数回の延期をした末、年長児は卒園式の日実施できたが、他のクラスは中止せざるを得なかった。コロナの状況をPTA役員と共有しながら、対応を協議できた。また年長児の発表会当日も積極的にお手伝い等を申し出ていただき、なんとかスムーズに発表会を終えることができた。また、他の学年の発表会もDVD作成となったが、PTA役員さんから多くの協力を得て、家庭に配布し喜んでいただいた。
今後の課題	地域に積極的に発信していく。
課題に基づく改善等	町の広報誌やマスメディア等の活用 コロナ収束時には、地域の方を招待する。

今後、当該事業において取り組みたい「参加・参画、協働事業（制度）」があれば、記載してください。

--